

北野よしはる

発行所
自民党名古屋市議団
名古屋市中区三の丸3-1-1
(名古屋市役所内)
電話(大代) 961-1111

北野事務所
守山区桔梗平1-2103
電話 799-8739
FAX 799-8738



若さと情熱!

プロフィール

S50.4.19守山区生まれ O型
180cm 75kg
吉根みどり幼、志西小、志段味中
瀬戸高、関東学院大法卒、国会議員
秘書、病院勤務を経て現職(3期)
民間保育・学童保育連盟議員
趣味:DIY、映画鑑賞、読書
家族:妻と一男(小6)一女(中3)

令和4年度 北野議員は

- ・ 総務環境委員会
- ・ 公社対策特別委員会
- ・ 名古屋港管理組合議会

委員長
委員
議員

に就任!

名古屋市議会の本会議で、北野議員が代表質問!

自民党市議団の政調会長として、本市の課題や将来の施策について、約90分間にわたって質問をしました!

代表質問した項目

- 1 令和4年度市税収入について
- 2 小児への新型コロナウイルスワクチン接種について
- 3 名古屋市が目指す大都市制度「特別自治市」について
- 4 想定し得る最大規模の災害対策について
- 5 デジタルツールを活用したいじめ対策について
- 6 市立大学のキャンパス再編整備について
- 7 アジアパラ競技大会の開催及び障害者スポーツの振興について
- 8 スタートアップ・エコシステムによるイノベーションの創出促進について
- 9 名古屋城天守閣整備事業について
- 10 ガイドウェイバスにおける自動運転技術の導入について
- 11 都心部における今後のまちづくりの展開について
- 12 取引者のない遺体が長期間放置されていた件について

5、11歳集団接種 来月開始

1回目23、24日 各区役所などで

市議会二月定例会は四日、本会議を開き、五会派が代表質問した。市側は五、十一歳向けの新型コロナウイルスワクチンの集団接種日程を明らかにしたほか、ガイドウェイバス「ゆとりーとライン」に自動運転技術を移植した新車両を導入する考えを表明した。(白名正和、蓮野亜耶)



五十一歳の集団接種の一回目は、四月十三、十四日、二回目は、週間後の五月十四、十五日に実施

市議会二月定例会は四日、本会議を開き、五会派が代表質問した。市側は五、十一歳向けの新型コロナウイルスワクチンの集団接種日程を明らかにしたほか、ガイドウェイバス「ゆとりーとライン」に自動運転技術を移植した新車両を導入する考えを表明した。(白名正和、蓮野亜耶)

局長は答弁で「会場は市民の利便性も考慮し、(十二歳以上の集団接種と同じ)各役所の講堂などとする方針」と述べた。

市によると、十二歳以上とは接種の量などが異なる米ファイザー製の小児用ワクチンを使用。大人用ワクチンの誤接種を防ぐため、四月十三、二十四日と五月十四、十五日は、五、十一歳だけの集団接種とする。

会場では、十二歳以上とは異なり、予診から接種までを一人の医師が同じブースで担当する。子ども本人や保護者が安心して接種を受けられるよう、目まぐるしく小児医療に携わる医師や看護師を中心に配置する方針で、市医師会と調整している。

一日あたりの接種枠は予約開始までに公表する。成人よりも慎重に接種を進める必要があることから、十二歳以上の枠である約三百人よりも少なくなると見込まれている。

北野議員の質疑が取り上げられる 中日新聞より



登壇し、質問する北野議員



質問席から、問題点を指摘する北野議員

自動運転技術車導入へ

ゆとりーとライン、26年目標

市北東部と春日井市を結んでいるゆとりーとラインへの新型車両導入は二〇二六年が目標。市側によると、運転手が乗り込み車が衝突を避けるようサポートする運転支援の車両を想定する。

導入時は既存のレールを取り払う必要があり、現行の車両を走らせ続けることが難しくなる。現在は予備を含め二十八台の車両が稼働しているが、担当者は導入台数について「現状よりも充実させたい」と説明する。

ゆとりーとラインは第三セクター「名古屋ガイドウェイバス」が運営。特に地下鉄の駅がない守山区で主要な公共交通機関となっている。

開業当初の〇一年度に五千二百八十八人だった一日の平均利用者は、コロナ禍前の一九年度には一万二千七百七十八人に増加している。

沿線の守山区の志段味地区は今後も人口が増えるが見込まれ、増車による輸送力の強化が必要だと考えられている。ゆとりーとラインについては、自民の北野議員が質問した。

守山区民の声を代弁しバス路線の充実を強く求める 中日新聞より

守山もしっかりと!



👉 小幡西山線、守山本通線が整備優先路線に追加！

市内にいくつかある未着手都市計画道路のうち、名鉄瀬戸線高架化工事や周辺道路と密接に関連する上記の路線については、地元の方々からご心配の声を頂いており、これまで北野議員も注視していました。今回、名古屋市は上記の路線を一体的に整備する必要性を認め、新たに**整備優先路線**にすることを決めました。今年度からの事業着手を予定しています。



👉 名鉄瀬戸線高架化工事(小幡～大森金城学院前 1.9キロ区間)が進展！

北野議員も再三にわたり、早期完成の要望を重ねてきた本事業。ようやく3月に「上り線」が高架に切り替わりました。この工事で踏切9カ所を廃止し、国道302号線、瀬戸街道などの周辺の交通渋滞緩和を見込みます。「下り線」は2023年度に高架化予定。守山区民にとって大切な「せとでん」の走る姿が、まちの風景をさらに魅力的に彩りそうです！地域の交通安全対策と渋滞対策のため、今後も北野議員が万全を期して取り組みます。



地上から見上げると・・・せとでん



国道302号線の上空を走るせとでん



高架上の喜多山駅に停車するせとでん

👉 地域では消防団員を募集中！北野議員も全力サポート！



地域のつながりがうすくなりつつある昨今では、名古屋市内の各区で団員数が、年々減少しており、若い力が求められています。消防団とは消防職員とは異なり、非常勤で地域防災活動する組織です。団員は特別職の地方公務員で報酬が支払われます。他の本業や学業と兼務する人もいます。近年では東日本大震災において、地元を熟知する消防団員の大活躍が連日、報道をされ、消防団による地域貢献がスポットを浴びました！

北野議員は消防団員のモチベーションアップと新団員確保を促進するため名古屋市と調整を進めた結果、令和4年4月、市内全団員の手当拡充が実現されました。「会社とは違う地域のつながりができる！」のも団の魅力です。入団をご希望の方は、名古屋市ホームページから電子申請頂くか、北野事務所までご連絡ください！

あしがき

ひとこと



令和3年度は市議団の政調会長、および国県市連携副本部長として様々な経験をさせて頂きました。市議団に毎日寄せられる多くの名古屋市民からの陳情や各種団体からの要望に対応し、議員になってから一番と云っていいほど、多くの方々との対話をさせて頂きました。コロナ禍特有の相談も多く、改めて社会情勢が大きく変わっていることを肌で感じました。そうした状況下で、私が心掛けたのは、今こそ議員としてできる事を、最大限に発揮する事だと思いました。図らずもそうした強い思いと地道な活動が、国や県、市にも伝わり、市民のためのワクチンの早期確保や市民および事業者向けの支援事業などの「カタチ」になり、大変良かったと思います！

さて最新の国勢調査で名古屋市の人口は2,332,176人で、過去最多となりました(守山区は176,587人で市内人口3位)。外国人の数は8万人を超え、若い世代の未婚率が男女ともに上昇しています。また高齢者の単身世帯が65歳以上の人口の23.0%を占め、高齢者の約4人に1人が一人暮らしです。

今後は少子高齢化時代を見据え、国力を下げないよう、国と地方はさらに真剣に諸課題に取り組む必要があります。国は2060年、人口減少を1億人で食い止めるビジョンを描いています。名古屋市は国の保有するデータを充分活用し、行政、産業界、大学、金融機関、労働団体など地元のあらゆる業界団体すべてが参加する、総合戦略を持つことで、強く安定した都市を構築しなくてはなりません。ウイズコロナ時代でも、しっかりとした存在感を示せる都市名古屋を目指して、私もその一助となるべく今後も頑張っまいります！

《お知らせ》 後援会旅行会は昨年同様、安全を考慮し中止させて頂きます。